

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991600071		
法人名	株式会社 奉伸		
事業所名	グループホーム「アルプスのなかまたち」		
所在地	山梨県南アルプス市桃園345-3		
自己評価作成日	平成28年9月22日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成28年10月19日(水)		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

奉仕して伸ばす新しい介護をスローガンに施設運営をしています。利用者様が中心となり役割を持った生活の実現が出来るよう、利用者様には自分のできることを役割として受け持っていていただき、難しいところを職員がサポートする形で、毎日の生活に生き甲斐を感じていただきながら、楽しく時間を過ごしていただいています。一日の生活では家事のほか、体操やアクティビティ、お散歩など体を動かすこと、話をする事、頭を使うことに取り組んでいます。そのため、1日の運動量は多く、とても話し声や笑い声や笑顔が多い明るい雰囲気施設です。特に一人一人の入居者様の生活や気持ちの尊重と、個人個人に合った介護予防に向けて力を入れて職員が丸となって頑張っております。また、地域密着型サービスとして、地域のお役に立てる様に施設全体で目標を持って目標を達成する様に努力しております。新しく入居を希望される方で、「何もできないと入居が出来ないのですか?」と質問されることがございますが、入居者様の個人個人の能力を見極め引き出していくことがグループホームの役割であります。安心してご来所ください。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、木造平屋建ての2ユニットでゆったりと作られており、中庭には屋敷神様が祀られ利用者の‘家’としての思いを持つことに役立っている。近くには病院、商店街、福祉施設や住宅などがあり、これらの社会資源を活かすことで利用者の生活を豊かにしている。職員は「利用者様が人生の先輩であることを忘れず一人ひとりを尊重します」の理念に基づき、利用者の気持ちに寄り添いながら利用者が毎日の生活に生きがいを感じることができるよう、個々の力を活かし、一人ひとりに合った支援に努めている。開設より3年、地域との交流に努め、持ちつ持たれつ関係を築いており、このことが利用者の力、地域の力を引き出している。利用者は、意欲を持った職員の支援を受けながら生き生きと楽しんでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム「アルプスのなかまたち」**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1ユニット)	ユニット名(2ユニット)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義をふまえ、職員みんなで事業所の理念を4項目作り、職員同士が共有し、常に見える場所(キッチン)に貼って、個々の利用者が役割を持って過ごせるよう援助が出来ていると考えています。利用者様方も会話も多く、利用者様と職員と一緒に楽しく過ごせる事を大切にしていますので笑顔もたくさん見られています。	地域密着型サービスの意義をふまえ、職員みんなで事業所の理念を4項目作り、職員同士が共有し、常に見える場所(キッチン)に貼って、個々の利用者が役割を持って過ごせるよう援助が出来ていると考えています。利用者様方も会話も多く、利用者様と職員と一緒に楽しく過ごせる事を大切にしていますので笑顔もたくさん見られています。	職員全員で自分たちの目指す介護を話し合い理念を作った。理念は常に職員が共有できるよう、目の届く所(キッチン)に掲示している。問題が起きた時はその都度、月1回の職員会議、毎水曜日のカンファレンスで話し合い、理念にたち戻り実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	散歩に出かけた際、ご近所のお嬢様さんで休みしたり、ご近所様のお庭を見せていただいたり、地域の方とお話をしたり、地域の一人として利用者様には暮らしをさせていただいていると考えています。また、ホームの花壇にはご近所様がお花や外灯を寄付していただき、利用者様と一緒に季節のお花などを植えてくれたりして、綺麗にできています。自治会にも加入し、事業所の入り口に地域の地図も取り付けていただいております。	散歩に出かけた際、ご近所のお嬢様さんで休みしたり、ご近所様のお庭を見せていただいたり、地域の方とお話をしたり、地域の一人として利用者様には暮らしをさせていただいていると考えています。また、ホームの花壇にはご近所様がお花や外灯を寄付していただき、利用者様と一緒に季節のお花などを植えてくれたりして、綺麗にできています。自治会にも加入し、事業所の入り口に地域の地図も取り付けていただいております。	自治会に加入し、地域と互いに支え合う関係を築いている。いつも挨拶を心掛け、地域の募金活動やお祭りなど積極的に協力し事業所として地域に貢献しようとしている。近隣の住民とは、花や菓園の手入れや、暑れの餅つきの手伝いなど普段の生活の中で自然な交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在、市役所の介護福祉課介護事業部と日中デイサービスを利用していない認知症を抱えたお年寄りのホットステーションとして、当施設がサテライト的な役割ができないか模索をさせていただいております。	現在、市役所の介護福祉課介護事業部と日中デイサービスを利用していない認知症を抱えたお年寄りのホットステーションとして、当施設がサテライト的な役割ができないか模索をさせていただいております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設で起きている問題を議題として、積極的に意見交換及び改善の報告が出来ていると思います。また、好転した対応策などを民生員様方が地域に戻り個々の家庭を訪問された時のアドバイスに役立てて頂ければと考えています。	施設で起きている問題を議題として、積極的に意見交換及び改善の報告が出来ていると思います。また、好転した対応策などを民生員様方が地域に戻り個々の家庭を訪問された時のアドバイスに役立てて頂ければと考えています。	2か月に1回定期的に開催され家族と利用者も交代で参加している。事業所からの近況報告の後、家族からは在宅での苦勞話や要望、地区の民生委員から地域のお年寄りの問題など活発に出されている。出された要望は直ぐに対応し、それを家族に伝えている。地域の問題にも取り組み、検討している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	基本は2か月に1回の運営推進会議で現在発生している問題への対応策及びその反応を継続報告しながら、意見を仰いだりし、施設でのことや、南アルプス市における認知症を抱えた方への対応策など考えております。	基本は2か月に1回の運営推進会議で現在発生している問題への対応策及びその反応を継続報告しながら、意見を仰いだりし、施設でのことや、南アルプス市における認知症を抱えた方への対応策など考えております。	市担当者とは事業所が抱える問題や、介護ロボット導入、職員の交代など現状を伝え、必要な指導をもらっている。市担当者からは、空き情報の問い合わせや、運営推進会議の様子を他の職員に見学させて欲しいなど依頼があり、協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員には徹底教育し、「身体拘束」をスローガンに行えています。玄関の施錠は勿論、各扉の施錠は無く、スピーチロックにも意識付けを行い、利用者様方がのびのびと過ごせる施設づくりに取り組んでいます。	職員には徹底教育し、「身体拘束」をスローガンに行えています。玄関の施錠は勿論、各扉の施錠は無く、スピーチロックにも意識付けを行い、利用者様方がのびのびと過ごせる施設づくりに取り組んでいます。	全職員が身体拘束の弊害はしっかり理解しており、不適切な言葉があれば職員間で注意し合う環境を作っている。利用者の行動には対処ケアではなく「なぜそうするのか？」を掘り下げ、利用者の個性に合わせた方法を作り出している。職員はその人の力に気づき、できることを増やしてやりがいを感じてもらえるよう努め、支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	学ぶ機会としては、最近、高齢者虐待に関する研修に参加し、参加した際は報告書として開示し、職員全員で共有する様にしています。また職員会議にて概要を話しています。事業所内でも細心の注意を払って虐待防止に努めています。	学ぶ機会としては、最近、高齢者虐待に関する研修に参加し、参加した際は報告書として開示し、職員全員で共有する様にしています。また職員会議にて概要を話しています。事業所内でも細心の注意を払って虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全ての職員が理解できるように、研修で学んだものを報告書として開示したり、職員会議で概要を話したりしています。	全ての職員が理解できるように、研修で学んだものを報告書として開示したり、職員会議で概要を話したりしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、不安や疑問点の解消も含め、理解納得を得ていると考えております。今迄、契約に関しましては、特に問題になることはありませんでしたが、今後、該当する事項が発生した際は、再度ご家族に説明を行いながら納得して頂ける様に対応して参ります。	十分な説明を行い、不安や疑問点の解消も含め、理解納得を得ていると考えております。今迄、契約に関しましては、特に問題になることはありませんでしたが、今後、該当する事項が発生した際は、再度ご家族に説明を行いながら納得して頂ける様に対応して参ります。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム「アルプスのなかまたち」**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1ユニット)	ユニット名(2ユニット)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設けています。投稿は今までありませんが、直接、会話の中で引き出すよう心がけています。また得た意見を施設内で検討し、対応するともに、取った対応策を後日必ずご家族にお伝えするようにしています。	意見箱を設けています。投稿は今までありませんが、直接、会話の中で引き出すよう心がけています。また得た意見を施設内で検討し、対応するともに、取った対応策を後日必ずご家族にお伝えするようにしています。	家族が職員に対してなんでも言える雰囲気づくりに努めている。面会時や受診支援で来訪した家族にお茶を出し、利用者の様子や世間話をするなど、時間を惜しまず話している。食事量についての不安、感染症予防について、家族の心情などさまざまなことを受け止め、直ぐに対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が代表者及び管理者に意見を言いやすい関係作りを心がけ、その都度意見を聞くようにしています。特に職員全員が代表者や管理者に直接連絡が取れ、相談や意見が出来る様な関係にあります。また、職員会議の場でも代表者、管理者、職員の間で、意見交換を行っています。	職員が代表者及び管理者に意見を言いやすい関係作りを心がけ、その都度意見を聞くようにしています。特に職員全員が代表者や管理者に直接連絡が取れ、相談や意見が出来る様な関係にあります。また、職員会議の場でも代表者、管理者、職員の間で、意見交換を行っています。	職員の要望・意見は月1回の職員会議やオーナーとの年2~3回のヒヤリングの場で聞くが、他に職員の様子を見て個別で懇談することもある。支援方法やバットの変更など日々のケアの提案や、休暇・シフトなどの要望は常に聞いている。職員が不満や問題を抱え込まないよう配慮し、なんでも言い合える関係になっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の努力や実績を考慮し、給与に反映しています。またなるべく労働時間に無理が無く、やりがいが失われない様、勤務時間が不規則で大変ですが、職員みんなが助け合い、向上心とやる気を持って働ける職場環境での運営が出来ていると考えています。やりがいとして、月毎の行事担当を、職員が二人一組になり担当者になって順番に任せています。	代表者は職員の努力や実績を考慮し、給与に反映しています。またなるべく労働時間に無理が無く、やりがいが失われない様、勤務時間が不規則で大変ですが、職員みんなが助け合い、向上心とやる気を持って働ける職場環境での運営が出来ていると考えています。やりがいとして、月毎の行事担当を、職員が二人一組になり担当者になって順番に任せています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は管理者や職員が研修や資格を受ける事にも理解があり積極的に、研修の際も職員個々の参加希望を大切にシフトを構成しています。参加した職員には報告書や職員会議にて概要を報告してもらっています。また、平素より介護技術で疑問に思う事、目に付いたことは体感できるように、施設内で資格保持者のもと随時指導しています。	代表者は管理者や職員が研修や資格を受ける事にも理解があり積極的に、研修の際も職員個々の参加希望を大切にシフトを構成しています。参加した職員には報告書や職員会議にて概要を報告してもらっています。また、平素より介護技術で疑問に思う事、目に付いたことは体感できるように、施設内で資格保持者のもと随時指導しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は管理者や職員が研修や資格を受ける事にも理解があり積極的に、職員に協会主催の研修などに参加してもらい、参加した際個々の交流をしたりして、ネットワーク作りから、サービスの向上をする取り組みを出来る限りしています。	代表者は管理者や職員が研修や資格を受ける事にも理解があり積極的に、職員に協会主催の研修などに参加してもらい、参加した際個々の交流をしたりして、ネットワーク作りから、サービスの向上をする取り組みを出来る限りしています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	訴えることが出来ない利用者様に対しても会話の中にある声なき声に気を配りながら、ご家族と一緒に検討することで、ご本人の要望に近いものを提供できるよう努めています。また、ご本人の役割を早く見つけることでご本人の居場所づくりに努め、安心して過ごせるよう援助を心掛けています。	訴えることが出来ない利用者様に対しても会話の中にある声なき声に気を配りながら、ご家族と一緒に検討することで、ご本人の要望に近いものを提供できるよう努めています。また、ご本人の役割を早く見つけることでご本人の居場所づくりに努め、安心して過ごせるよう援助を心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する前の初期段階で、ご本人から聴取したこと、様子をご家族に報告、説明し、ご家族の意見や訴えに搭合せ、サービスの提案をしています。また、入居後でも積極的に面会をしていただくことで、入居後の変化を一緒に見守れる様に努めています。その成果が入居後落ち着いて過ごせる方が殆どです。	サービスを導入する前の初期段階で、ご本人から聴取したこと、様子をご家族に報告、説明し、ご家族の意見や訴えに搭合せ、サービスの提案をしています。また、入居後でも積極的に面会をしていただくことで、入居後の変化を一緒に見守れる様努めています。その成果が入居後落ち着いて過ごせる方が殆どです。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の対応として、入居者様個人と、ご家族の両方の意見要望に耳を傾け、搭り合わせ、サービスを導入を検討しています。ご本人やご家族の意向から、医療保険を活用した訪問マッサージ、職員による病院への受診対応や、食事の個別対応なども行っています。また施設内での美容室、歯科などの対応も行っています。	初期の対応として、入居者様個人と、ご家族の両方の意見要望に耳を傾け、搭り合わせ、サービスを導入を検討しています。ご本人やご家族の意向から、医療保険を活用した訪問マッサージ、職員による病院への受診対応や、食事の個別対応なども行っています。また施設内での美容室、歯科などの対応も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活全般で、利用者の方々が残存機能により出来ることは、皆様で手分けして出来る限り行えるように職員がサポートしながら提供している。また利用者の方々の出来ないところを職員がお手伝いする事で「ありがとう。」の言葉が施設内に飛び交っています。例をあげると、洗濯物を畳む、食事の支度や後方付けの手伝い、お掃除など、皆様積極的に手伝って下さっています。	日常生活全般で、利用者の方々が残存機能により出来ることは、皆様で手分けして出来る限り行えるように職員がサポートしながら提供している。また利用者の方々の出来ないところを職員がお手伝いする事で「ありがとう。」の言葉が施設内に飛び交っています。例をあげると、洗濯物を畳む、食事の支度や後方付けの手伝い、お掃除など、皆様積極的に手伝って下さっています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム「アルプスのなかまたち」**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1ユニット)	ユニット名(2ユニット)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	施設での出来事や日常の様子はご家族の面会時や月1回の各々の担当 職員からのお手紙でお伝えし、情報を共有できるよう動いています。また ご家族に協力を仰ぎ行っているご本人のニーズ対応(週1回の外出)や病 院受診へのご協力などもしていただくことで、ご家族と一体になってのケ アを実現しています。	施設での出来事や日常の様子はご家族の面会時や月1回の各々の担当 職員からのお手紙でお伝えし、情報を共有できるよう動いています。また ご家族に協力を仰ぎ行っているご本人のニーズ対応(週1回の外出)や病 院受診へのご協力などもしていただくことで、ご家族と一体になってのケ アを実現しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人が良く面会に来られる利用者様もいます。しかし、ご家族との関係 が悪くなり入居となった方もあり、先ずは、ご本人とご家族との関係改善 に動いているケースもあるので、利用者によってケースバイケースではあり ますが施設としては支援に努めています。施設の支援のもと、昔からの 馴染みの理容室に行く方もいらっしゃいます。	友人が良く面会に来られる利用者様もいます。しかし、ご家族との関係が 悪くなり入居となった方もあり、先ずは、ご本人とご家族との関係改善に 動いているケースもあるので、利用者によってケースバイケースではあり ますが施設としては支援に努めています。施設の支援のもと、昔からの 馴染みの理容室に行く方もいらっしゃいます。	入居の時、生活歴など情報を細かく把握し、基本情報を記録 後、得た情報や職員の気づきを書き加え、共有している。馴染 みの理容室、実家に行くなど家族の協力を得ながら馴染みの 関係が継続できるよう支援している。また、日々の暮らしの中 から利用者同士、馴染みの関係が生まれ互いに声を掛け合っ たり、見守ったりして助け合っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ ずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	現在の9名は時には喧嘩もしますが、自室に籠もり過ごされる方はおら ず、自分から望んでディールームで他者と過ごすことを楽しんでいるよう です。耳の悪い方もいますが、職員が介介役となり皆様の輪の中で過ご せるよう援助しています。	男性ということ、他者とのかわり上手くできない方もおられますが、 ご本人が得意な野菜の皮むきなど一緒に活動して頂くことで孤立しない 様に援助していますので、自室に籠る方は居なく、お昼寝をする方以外は ディールームで過ごしていらっしゃいます。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に移られた方は、ご家族を通じてご本人にお手紙を出すなどしなが ら、ご家族にも連絡を取りながらフォローしています。また、独居となっ ているご家族に対しては、時々連絡を取りながら、悩み事など伺いながら フォローしてきます。時々施設にも足を運んで来ています。	ケースがございません。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	最大限に努力し、努めています。自分の思いを伝えられない利用者様には、 紙とペンを渡して思いを書いていただいたり、既往歴や行動、言動から ケアの検討をし、ご家族に説明し同意を得た上でケアを実施していま す。	最大限に努力し、努めています。自分の思いを伝えられない利用者様には、 紙とペンを渡して思いを書いていただいたり、既往歴や行動、言動から ケアの検討をし、ご家族に説明し同意を得た上でケアを実施していま す。聴覚障害のある利用者様の理解を深める為に、手話教室を開催し、 手話を学ぶ機会を設けています。	職員はその人が「どの様に暮らしたいか」を心に留め、日々の かわりの中で把握に努めている。言葉で表せない人、聴覚 障害で手話での会話のみの人でも丁寧にアプローチして把握 に努めている。故郷(県外)に帰りたいとの希望を持つ利用者には、 パソコンを使い懐かしい景色を覗いてもらうなど思いを大切 にした支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	これまでのサービス利用の経過等に関しては、入居時に職員全員で把握 する様にしています。また、利用者様の普段の会話の中から出た思い出 話や、ご家族よりその都度得た情報を大切に、職員全体で共有し、経過 支援記録に記載し、次期計画書作成時に役立つよう動いています。	これまでのサービス利用の経過等に関しては、入居時に職員全員で把握 する様にしています。また、利用者様の普段の会話の中から出た思い出 話や、ご家族よりその都度得た情報を大切に、職員全体で共有し、経過 支援記録に記載し、次期計画書作成時に役立つよう動いています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	一人一人の現状を把握し職員同士で共有しています。また、個人介護記 録にその日の変わった様子は記載しています。上手くいった対応は、個 人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めてい ます。	一人一人の現状を把握し職員同士で共有しています。また、個人介護記 録にその日の変わった様子は記載しています。上手くいった対応は、個 人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるよう努めてい ます。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	行っていると考えています。ご本人、ご家族、必要な関係者の意見やアイ ディアは十分尊重して反映し介護計画を作成しております。	行っていると考えています。ご本人、ご家族、必要な関係者の意見やアイ ディアは十分尊重して反映し介護計画を作成しております。	入居時、本人・家族から聞き取りを行ない仮プランを作成し、全 職員、訪問リハ、医師の意見と家族の希望を盛り込み本プラン を作成する。その後は職員間でのモニタリングや受診状況等を 参考にして、半年に1回見直しが行われるが、体調や状況の 変化があればその都度、柔軟に見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。また上手く いった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有 できるよう努めています。 また、毎週水曜日にカンファレンスを設け、職員に計画書の案に対する意 見を聞きながら提案しています。	個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。また上手く いった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有 できるよう努めています。 また、毎週水曜日にカンファレンスを設け、職員に計画書の案に対する意 見を聞きながら提案しています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム「アルプスのなかまたち」**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1ユニット)	ユニット名(2ユニット)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	支援やサービスのニーズへの対応は積極的に行い、取り組んでいます。例に上げると、訪問マッサージ、訪問歯科、訪問診療、またご家族が定期受診に連れて行けない事情が発生した際は、職員が有料にて対応しています。必要とされる福祉用具がある時は、業者を呼んでご家族と繋げています。施設内での美容室の対応もしております。	支援やサービスのニーズへの対応は積極的に行い、取り組んでいます。例に上げると、訪問マッサージ、訪問歯科、訪問診療、またご家族が定期受診に連れて行けない事情が発生した際は、職員が有料にて対応しています。必要とされる福祉用具がある時は、業者を呼んでご家族と繋げています。施設内での美容室の対応もしております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族が対応できる利用者様に関しては、ご家族も地域資源の一つとしてご協力頂き、外に出る援助をしていただいております。また、難しい方に関しては、水曜日の午後のお買い物時間を活用し音馴染みのお店などに足を運べるよう援助しています。	ご家族が対応できる利用者様に関しては、ご家族も地域資源の一つとしてご協力頂き、外に出る援助をしていただいております。また、難しい方に関しては、水曜日の午後のお買い物時間を活用し音馴染みのお店などに足を運べるよう援助しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院はあるものの、ご本人及びご家族の望まれる病院での受診を優先しています。その際、施設で確認したいことは、ご家族にお手紙を持っていただいたり、ご家族の同意のもと医師に直接連絡し伺うこともございます。なるべく、ご本人のかかりつけ医に受診していただける様に、ご家族が受診対応出来ない場合には、有料ですが職員が対応できる体制を取っています。	協力病院はあるものの、ご本人及びご家族の望まれる病院での受診を優先しています。その際、施設で確認したいことは、ご家族にお手紙を持っていただいたり、ご家族の同意のもと医師に直接連絡し伺うこともございます。なるべく、ご本人のかかりつけ医に受診していただける様に、ご家族が受診対応出来ない場合には、有料ですが職員が対応できる体制を取っています。	家族、本人の希望するかかりつけ医に受診しており、基本的には家族対応の受診となっているが、都合がつかない時は事業所職員の看護師が同行している。受診の際は医師に日々の様子や変化を伝え、診療結果も家族と共有している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	何か変わったことがあった際は、急を要さない限り看護師に判断を仰ぎ対応しています。その際、ご家族には連絡を入れその事実を共有できるようにしています。グループホームには珍しく、看護師が職員でありますので、十分出来ていると思います。	何か変わったことがあった際は、急を要さない限り看護師に判断を仰ぎ対応しています。その際、ご家族には連絡を入れその事実を共有できるようにしています。グループホームには珍しく、看護師が職員でありますので、十分出来ていると思います。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院や他施設への移行があった際は、その日のうちに介護サマリーを発行し併せて、現場職員に口頭による情報提供をしながら対応しています。また、いつでも遠慮せずお問い合わせ頂けるよう声掛けています。	入院や他施設への移行があった際は、その日のうちに介護サマリーを発行し併せて、現場職員に口頭による情報提供をしながら対応しています。また、いつでも遠慮せずお問い合わせ頂けるよう声掛けています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医より疾患の予後を伺い、進行の兆候が見られた際は、ご本人及びご家族と施設での対応の限界を知っていただき、その他医療サービスの導入の検討にて補える部分を搭合せ、どの段階で病院及び医療施設への移行をすべきか事前に検討会を行っている。当施設は看取りを行っている為、入居時と、利用者の体調や状況が変化する都度、管理者、看護師同席にて看取りの詳しい指針をご家族から伺う様にしています。	主治医より疾患の予後を伺い、進行の兆候が見られた際は、ご本人及びご家族と施設での対応の限界を知っていただき、その他医療サービスの導入の検討にて補える部分を搭合せ、どの段階で病院及び医療施設への移行をすべきか事前に検討会を行っている。当施設は看取りを行っている為、入居時と、利用者の体調や状況が変化する都度、管理者、看護師同席にて看取りの詳しい指針をご家族から伺う様にしています。	入居時、看取りまで行えることを家族に伝え家族の考え方を確認している。体調に変化が生じた場合は家族、主治医、職員、看護師などで話し合う。家族の思いはその時々で揺れ動くことを理解し、繰り返しの話し合いを段階的に行っている。まだ看取り支援の経験はないが、それに近い支援経験はある。隣地に住む代表者の夫が医師であり、緊急時に対応してもらえることは家族にも職員にとっても安心につながっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	昨年は地域の方を交え、施設にて普通救命講習を開催したが、それ以降に入社した職員に対しては、地域で開催されている普通救命講習への参加を行い、事故発生時の対処法を学んでいただいております。緊急時の対応マニュアルも設けています。	昨年は地域の方を交え、施設にて普通救命講習を開催したが、それ以降に入社した職員に対しては、地域で開催されている普通救命講習への参加を行い、事故発生時の対処法を学んでいただいております。緊急時の対応マニュアルも設けています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	3月、9月は、毎週土曜日を避難訓練の日とし、全職員が昼間・夜間帯に災害(火災、地震)が発生したことを想定し、その都度避難場所や、「もしドアが開かなくなったら」など想定を変えたりしながら避難訓練の実技を行っています。また、トイレトイペーパーや食料の備蓄や避難器具(ヘルメットや、夜間でも通報が鳴るラジオ)などの災害対策は行っています。	3月、9月は、毎週土曜日を避難訓練の日とし、全職員が昼間・夜間帯に災害(火災、地震)が発生したことを想定し、その都度避難場所や、「もしドアが開かなくなったら」など想定を変えたりしながら避難訓練の実技を行っています。また、トイレトイペーパーや食料の備蓄や避難器具(ヘルメットや、夜間でも通報が鳴るラジオ)などの災害対策は行っています。	地震、火災を想定した訓練を年間8回実施している。出火元や状況を固定化せず、毎回の訓練の課題は直前に職員に伝え、実際にシミュレーションした訓練を行っている。いざという時には近所の方も駆けつけてくれる協力体制が出来ている。非常用食料の備品も準備している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の居室に入る際には、「〇〇さん、お部屋に入っても良いですか?」と必ず声掛けをしています。日々の支援時にも、利用者様のプライバシーを損ねない様に心がけています。またスピーチロックについて現在職員と学んでいます。その都度、気になる言葉に関しては職員が声を掛けお互いに注意しあうようにしています。	利用者様の居室に入る際には、「〇〇さん、お部屋に入っても良いですか?」と必ず声掛けをしています。日々の支援時にも、利用者様のプライバシーを損ねない様に心がけています。またスピーチロックについて現在職員と学んでいます。その都度、気になる言葉に関しては職員が声を掛けお互いに注意しあうようにしています。	馴れ合いの中で本人の尊厳を損なうことのないよう、入室時の挨拶をしたり、本人の意志決定を大切にすることで衣類の選択なども本人の希望を優先している。個人記録等は事務所に保管され、日報を記録する際も周囲に気を配りながら記入している。	

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム「アルプスのなかまたち」**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1ユニット)	ユニット名(2ユニット)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様本位の生活を優先しています。お手伝いや、運動や、アクティビティなど、1日のうち活動はたくさんありますが、取り組みたいものなど自己決定を大切に提供しています。食事、就寝に関しても自己決定を大切にしながら、毎日の生活をしていただけていると思います。	利用者様本位の生活を優先しています。お手伝いや、運動や、アクティビティなど、1日のうち活動はたくさんありますが、取り組みたいものなど自己決定を大切に提供しています。食事、就寝に関しても自己決定を大切にしながら、毎日の生活をしていただけていると思います。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合は優先しないで、まずは利用者様のそれぞれのペースをとても大切に生活しています。利用者様の家事やアクティビティ、体操への参加が習慣となっており、声掛けは行いますが、自主的に参加してくださっています。皆様それぞれのペースで、参加しているものと思います。また、食事や就寝も個人のペースを大切にしております。	職員側の決まりや都合は優先しないで、まずは利用者様のそれぞれのペースをとても大切に生活しています。1日の活動に気が向いたら参加という方もいらっしゃるの、声掛けを行い、自主性を重視しています。家事には参加しないがアクティビティには参加するなど、自己決定のもと生活しています。食事や就寝も個人のペースを大切にしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服を自分で決められない方に対しては、選択肢を設け決めやすい援助を行ったり、利用者様の洋服を「素敵ですな」などと誉める様にしています。誉められると利用者様も嬉しい笑顔を見せて下さいます。また、白髪染めやカットなど、美容師さんに来ていただき、施設内で対応していますので、皆さん思い思いの髪型にしてお洒落を楽しんでいます	洋服を自分で決められない方に対しては、選択肢を設け決めやすい援助を行ったり、利用者様の洋服を「素敵ですな」などと誉める様にしています。誉められると利用者様も嬉しい笑顔を見せて下さいます。また、白髪染めやカットなど、美容師さんに来ていただき、施設内で対応していますので、皆さん思い思いの髪型にしてお洒落を楽しんでいます		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食、夕食に関しては今日どのような料理を作ろうか利用者様と相談しながら、希望を取り入れ、調理下しから盛り付け、片付けまで皆様と分担して取り組んで自宅に居る様な生活を楽しんでいただいています。食事の会話が増し味になり更に美味しい様で、利用者様と一緒に行事で「御飯が美味しい」と言われる様になりました。また職員も利用者様と一緒に着席し、食事を取ること家族のような絆が作れていると思います。	調理は、皮むき、野菜切りなどみんなで取り組んでいます。施設内に畑があり、季節の野菜を収穫したり利用することで、会話も弾みます。準備、片付けに参加できない方も、場と一緒に頂くことで食事を楽しくして頂ける様心がけています。何より食べて美味しいよ、と言って下さることを皆様楽しみにしていただいています。また職員も利用者様と一緒に着席し、食事を取ること家族のような絆が作れていると思います。	食材の在庫を見て職員と利用者で、その日の献立を決め、利用者、職員がかかわりながら調理や配膳を行ない、同じテーブルで食べている。食事は関係をつくる過程と捉え、職員はお弁当持参だが利用者とは分け合うこともある。準備から片付けまでの中で、利用者一人ひとりの「やりがい」につながる機会となるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量はチェックしますが水分は、摂取に制限がある方のみチェックシートを活用します。現在しっかり食事、水分を摂ってくださる方ばかりなのであまり気にしていません。バイタルの変化にて水分を勧めることはございます。	皆様、体重の増減は安定しています。水分摂取のチェックシートは必要の方のみ利用しています。野菜中心でバランスが良いため便秘解消につながっているケースもあります。医師の指示によりキウイフルーツを提供している方もおります。水分摂取が少ない方には、ご家族の協力を頂き、いろいろな味のジュースやOS1などを提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	日中は、毎食、食事の後に、その方に必要な援助にて対応させていただいています。夕食後の口腔ケアの後、夜間の義歯管理は職員が行わせていただいています。1名義歯を外すと、落ち着かなくなる利用者様がおり、話し合いにて装着したまま休まれる方もいます。1名歯磨きテッシュでの清拭を行う方がいます。	日中は、毎食、食事の後に、その方に必要な援助にて対応させていただいています。夕食後の口腔ケアの後、夜間の義歯管理は職員が行わせていただいています。1名歯磨きテッシュでの清拭を行う方がいます。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	行っています。失禁のタイプにもよりますが膀胱性の方に対しては、こまめに声掛けを行い対応し、日々の観察の中から、排泄パターンやサインを見つけて対応しています。オムツをはかれた状態でも時期を見て、布パンツと尿取りパットをトライし成功された方もおります。身体機能が低下した方の為に右側部分が広いトイレと、左側部分が広いトイレがあります。	行っています。失禁のタイプにもよりますが膀胱性の方に対しましては、こまめに声掛けを行いながら対応しています。カテーテルを使用している方もいますが、時間を決めて対応させて頂いております。身体機能が低下した方の為に右側部分が広いトイレと、左側部分が広いトイレがあります。	排泄チェック表を記録し、一人ひとりの排泄パターンを把握している。職員は利用者の排泄のサインを察し、さりげなくトイレ誘導を行なっている。オムツを使用していた方も、トイレ誘導することでトイレでの排泄が習慣化されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常生活の中で野菜中心の食事から、食へのアプローチや、個人個人に残された機能を使った運動の提供、水分摂取の促しなど、予防に取り組んでいます。また訪問マッサージで腸の活性化を図っている方もいます。便秘症にて下剤を処方されている方もございますが、腹部マッサージなど行いながら出来るだけ自然に排便できるよう努力しています。	日常生活の中で野菜中心の食事から、食へのアプローチや、個人個人に残された機能を使った運動の提供、水分摂取の促しなど、予防に取り組んでいます。便秘症にて下剤を処方されている方もございますが、腹部マッサージなど行いながら出来るだけ自然に排便できるよう努力しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	月・木曜日を基本の入浴日とし、汗をかいたり、汚れてしまった際は、個々に入浴を提供する形をとっています。声掛けに嫌な方は見られていないので、個々に沿っていると言えらるのではと考えています。また、個人個人が好みのシャンプーやソープを使って入浴していらっしゃるのも個々に沿っていると考えております。	火・金曜日を基本の入浴日とし、汗をかいたり、汚れてしまった際は、個々に入浴を提供する形をとっています。拒否される方もいますが、声掛けの工夫や、入浴剤の活用、気が向いた時に提供できるようにしながら、気持ちの良い入浴が出来るよう努力しています。また順番にこだわらない方も、希望の順番で対応したり、個人個人が好みのシャンプーやソープを使ったりしております。	基本的に週2回、10:30~16:00の時間帯で入浴している。失禁などで、必要があればその都度入浴支援をしている。入浴を拒む方には入浴時間を変えたり、入浴剤を使ったり、言葉かけや対応を工夫している。朝風呂、午後風呂、同性介助、入浴の順番など意向に沿った対応をしている。	

自己評価および外部評価結果

事業所名 グループホーム「アルプスのなかまたち」

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1ユニット)	ユニット名(2ユニット)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は21時とされていますが、個々の希望尊重しています。見たいテレビがあるときは当然遅くなります。寝付けない時は職員が話し相手になったり、気持ちを落ち着けて安眠出来る様に対応しています。よって支援出来ていると思います。就寝時間は、個人の希望に任せていたため、日によって変わります。また、お昼寝を希望される方には、希望通りに休息できるように対応しています。	早寝、早起きの方が多いです。寝付けない時などは、ディールールで職員が話し相手になったりして、気持ちよく休めるように安眠の援助をしています。また、お昼寝を希望される方には、希望どおり休息できるように対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師指導のもと薬の理解を他の職員もする様にし、変化が見られるときは、ご家族を通じ主治医に状況を伝えられるようにしています。処方薬との食べ合わせが悪いものに関しては事前に職員内で周知できるよう職員ノートを活用し対応しています。	看護師指導のもと薬の理解を他の職員もする様にし、変化が見られるときは、ご家族を通じ主治医に状況を伝えられるようにしています。処方薬との食べ合わせが悪いものに関しては事前に職員内で周知できるよう職員ノートを活用し対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	皆様、個々では集中力が続かず、皆様で同じことを行うことを好まれています。個々の能力から何かしらの役割を持っていただき、張り合いや喜びのある日々を過ごせる様に援助しています。体操やアクティビティ、散歩などを提供したり、差し入れの嗜好品を食べながら趣味だったハーモニカを吹いたり、歌を唄ったり、積極性や笑顔が沢山見られています。また、利用者様が、いつでも好きな時にお茶が飲める様にデイルームにお茶のポットが置いてあります。	個々の能力から何かしらの役割を持っていただき、張り合いや喜びのある日々を過ごせる様に、援助しています。体操やアクティビティ、散歩などを提供したり、昔からの趣味の将棋をしたり、読書をしたり、積極性や笑顔が沢山見られています。また、利用者様が、いつでも好きな時にお茶が飲める様にデイルームにお茶のポットが置いてあります。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日用品が切れた時は、毎週水曜日の午後をお買い物の日とし、必要なものがある方を優先しお買い物に出かける援助を行っています。希望があれば、お菓子屋に寄って食ってくることもございます。また、ご家族の協力のもと、定期的に外食へ連れて行ってもらっている方もいます。また、散歩をしたい方など、職員が付き添い、その方に合わせた気分転換をしています。	日用品が切れた時は、毎週水曜日の午後をお買い物の日とし、必要なものがある方を優先しお買い物に出かける援助を行っています。その他、昔馴染みの床屋やお店での買い物希望される方へ入浴がない日を使い援助させて頂いています。また、定期的に友人と外食を楽しむ機会を継続できるような援助している方もおります。車取りや水やりをしたい方は職員付き添いで行っています。	利用者を誘い日常的に散歩している。散歩途中のおまんじゅう屋さんでお茶を飲んだり、デッキでの外気浴などを日々行っている。週1回の買い物ツアーや、馴染みの理容店で散髪など本人本位に支援している。また、言葉で表すことができない利用者が書いたメモから職員が本人の行きたい場所に気づき、家族の協力を得て実家への外出につながった。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理でお金を持たれている方もいますが、その他の利用者様は、ご家族の希望により、施設で管理をお金を預かるよう頼まれています。毎週水曜日の午後に必要なものがある方を優先しながら順番でお買い物に出ています。その他で、欲しい物がある場合など、利用者様から頼まれた職員が代わりに買い物に行ったりもしています。	自己管理でお金を持たれている方もいますが、その他の利用者様は、ご家族の希望により、施設で管理をお金を預かるよう頼まれています。毎週水曜日の午後に必要なものがある方を優先しながら順番でお買い物に出ています。その他で、欲しい物がある場合など、利用者様から頼まれた職員が代わりに買い物に行ったりもしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者に対しては電話の使用など援助しています。お手紙は、面倒くさがる方が多いですが、七夕の短冊や年賀状など字を書く機会には、利用者様にご家族へのメッセージを書いていただいたり、書けない利用者様に対しては職員が思いを聞いて代筆したりしながら、ご家族にご本人の気持ちが伝わるよう援助しています。	希望者に対しては電話の使用など援助しています。お手紙は、面倒くさがる方が多いですが、七夕の短冊や年賀状など字を書く機会には、利用者様にご家族へのメッセージを書いていただいたり、書けない利用者様に対しては職員が思いを聞いて代筆したりしながら、ご家族にご本人の気持ちが伝わるよう援助しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分の部屋の理解やプライバシー保護の為、入居時自宅より暖房をお持ち頂き自室前にかけるようにし、天窓を沢山設けて明るく保ち、共有部分は無駄な物を置かず広々とした音楽を流したりしています。壁には、利用者様が作った作品などを飾って、暖かい雰囲気作りをしています。浴室も明るく温かく温泉の様な雰囲気を出しています。また、廊下でも一休み出来る様に、畳のベンチを3個置いて、居心地良い空間作りを行っています。	自分の部屋の理解やプライバシー保護の為、入居時自宅より暖房をお持ち頂き自室前にかけるようにし自室の認識に努め、各々自由に居室をアレンジして頂き心地よく住めるよう努めています。天窓を沢山設けて明るく保ち、共有部分は無駄な物を置かず広々とした音楽を流したりしています。またエントランスから見える花壇には、利用者様と一緒に花を植え、草むしりから水遣りをお行い、一緒に心地よい空間を作っています。	リビングの天窓から入る自然な光が心地よく、廊下に備えられた畳敷きのベンチは利用者のホッとできる居場所になっている。トイレ、浴室は様々な介助を想定した空間が確保されており、マッサージ機も置かれ、くつろげる空間となっている。地域の人が手入れしてくれている庭や菜園から季節を感じられる。屋敷神様が祀られ落ち着ける環境となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間以外では、仲良しの方の部屋でお話する方や、廊下の畳のベンチに座ったり話したりする方、デイルームのマッサージ器でマッサージをしたり、デッキのベンチに座って寛ぐ方など、利用者様が思い思いに過ごされています。また、デイルームの席の配置に気を遣い、気の合った利用者様同士での席の配置を心がけております。	共用空間以外では、仲良しの方の部屋でお話する方や、廊下の畳のベンチに座ったり話したりする方、デイルームのマッサージ器でマッサージをしたり、デッキのベンチに座って寛ぐ方など、利用者様が思い思いに過ごされています。また、デイルームの席の配置に気を遣い、気の合った利用者様同士での席の配置を心がけております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各々自由に居室をアレンジしていただき、馴染みのある寝具、家具などは、なるべく持ち込んでいただき、心地よく住めるように努めています。ご自分専用の電化製品や、古くなくご主人の写真や、可愛がっていた猫の写真飾ったり、思い出の品を持ち込んで、本当の自宅の様に入居していらっしゃる方もいます。反対に、寝具以外持ち込まれない方もいます。	各々自由に居室をアレンジしていただき、馴染みのある寝具、家具などは、なるべく持ち込んでいただき、心地よく住めるように努めています。ご自分専用の電化製品や、自宅の茶巾箱、お孫さんが書いた習字を飾ったり、思い出の品を持ち込んで、本当の自宅の様に入居していらっしゃる方もいます。反対に、寝具以外持ち込まれない方もいます。	居室の入口には利用者・家族が用意した暖簾がかけられ自室の目印になっている。ベッド、テーブル、椅子、筆箱は備えてある。それぞれに馴染みの品や絵、家族の写真、位牌などが飾られ、その人らしい、心安らぐ部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	少しでもできるのにやっていた事または、できるのにやる機会に恵まれていなかったことに目をむけ自立できるところを増やせるよう援助しています。少しだけ出来ない事は支援し、少しでも出来る事になる様に、建物内部のトイレや居室にナースコールを付けて、困った事の自立に繋がるお手伝いをしています。	少しでもできるのにやっていた事または、できるのにやる機会に恵まれていなかったことに目をむけ自立できるところを増やせるよう援助しています。少しだけ出来ない事は支援し、少しでも出来る事になる様に、建物内部のトイレや居室にナースコールを付けて、困った事の自立に繋がるお手伝いをしています。		